

時と所を問わず、医療行為には二つの局面を指摘できる。一つは、疾病を正確に診断し、的確な治療を行うという局面である。医療従事者がこれを行うためには、疾病や人体に関する高度な知識と、投薬や手術を巧みに行う技術が必要になる。医療行為のもう一つの局面は、疾病に侵された患者に対して精神的なサポート（場合によっては経済的なサポート）を与えるという局面である。この局面に関して医療従事者に要求されることは、患者の気持ちを理解し、患者と良好な人間関係を構築することである。疾病を診断し、治療を行う局面は「キュア」と呼ばれ、患者に対して精神的なサポートを与える局面は「ケア」と呼ばれる。

〈中略〉

「治療」とも言われるキュアは、疾病の除去、つまり、病気を治すことを目標とする。〈中略〉それに対して、ケアの目標は患者の自律を保全することである。患者の自律を保全するとは、患者一人一人が自分のことは自分で決められるようにし（自己決定）、自分のことは自分で責任を取れるようにすることである（自己責任）。また、キュアの対象は「病んだ臓器」になりがちである。それに対して、ケアの対象は人格である患者、一人の人間である患者である。つまり、「ケア」という言葉には、「臓器を診て、人を診ない」、「患者の人格を認めない」とされる現代医療の風潮を批判する意味が込められていることが多い。

20世紀になって、このように「キュア」と対比される「ケア」が重要視されるにいたった理由は、以下のとおりである。医学の進歩に伴い、疾病の診断・治療技術は飛躍的に発展した。第二次大戦後、一般の医療にも抗生物質が使用されはじめ、多くの感染症が治療可能になった。また、外科の技術も格段に向上し、臓器移植等も可能となるにいたった。つまり、「キュア」の局面では医療は大飛躍を遂げたのである。その一方で、医師や看護師がキュアに忙殺され、患者のケアがなおざりにされるケースも増えてきた。〈中略〉

1960年代になると、アメリカでは公民権運動と連動する形で、「患者の権利」を擁護する動きが生じた。「キュア」ということだけを念頭に置いたならば、「黙って医師の言うとおりにしていれば、すぐに病気は治る」ということも成り立つ。医師等の医療従事者の命令に患者は素直に服従するという「医療の構図」が描けるわけである。看護師の仕事は、患者を管理する、さらに言えば、患者の病んだ臓器を管理することになりかねない。「キュア」を有効に実施するためには、「患者のわがまま」を聞いてはもらえないのだろう。キュア偏重の医療は、人間よりも疾病を重視してしまう。この病気に対してはこの薬といったように画一化が促進され、患者の個性

は軽視されることにもなる。①「キュア偏重の医療は患者を人間として扱っていない医療である」との批判が高まった。また、医療技術の進歩にもかかわらず、糖尿病等の治療することが難しい生活習慣病患者のケアや、そもそも治療することがない末期ガン患者のケアも脚光を浴びるようになった。1970年代以降、先進諸国ではキュア偏重の医療を反省する機運が高まり、患者の人格を尊重する「ケア」の重要性が強調されるにいたったのである。『人格としての患者』の著者であるラムジー（Paul Ramsey）を筆頭として、多くの生命倫理学者がケアの重要性を強調している。

現代の生命倫理学の標準的な考え方に従って「ケア」を重視すると、以下のことが②医療の理想となる。患者と医療従事者はイーブン・パートナーとなる。医療行為は、患者と医療従事者との共同作業である。医療の現場は、個々の患者と医療従事者とが協力する場となる。医療行為に関する最終的な決定権は人格である患者に属することになり、正確な情報を患者に伝えることは医師の義務とみなされる（インフォームド・コンセント）。医療従事者と患者との間にどのような人間関係を構築すればよいのかが大問題になる。一般論としては、医療従事者は患者をよく理解し、患者の人格を尊重しなくてはならないということが言える。しかし、個々のケースに対しては、さまざまな例外もあり、決まった処方箋を出せるというわけではない。むしろ、ケース・バイ・ケースに患者との人間関係を築き上げることこそ、患者の人格を尊重することであろう。先に、ケアの対象は人格である患者、一人の人間である患者であると述べた。同じ疾病に罹^{かか}っていても、患者は人それぞれである。さまざまな患者がいるのだから、さまざまなケアがあるのは当然のことである。

（松川俊夫：ケア—概念の説明—。加藤尚武，加茂直樹編集；「生命倫理学を学ぶ人のために」世界思想社（2004）より抜粋，一部改変）

問1 下線部（A）の「キュア偏重の医療は患者を人間として扱っていない医療である」という批判が高まった理由を、文中の言葉を用いて100字以内（句読点を含む）で説明しなさい。

問2 下線部（B）の医療の理想について、文中の言葉を用いて80字以内（句読点を含む）で説明しなさい。

問3 テキストを読んで、医療の理想を実現するために、あなたはどのような医療従事者になりたいと考えますか。あなたの考えを200字以内（句読点を含む）で述べなさい。

大阪府立看護大学